

なぜなケアプランセンター



ケアマネをしていて、夏は一番心配な季節だ。その理由は、熱中症である。ある利用者は、誰が言っても絶対に冷房機を付けてくれない。また、別の利用者は、暑くないと言って冷房機を付けない。中には「暖房」になっていることに気が付かない利用者もいる。多様な利用者があることを頭に置きながら、如何に、この夏を無事に乗り越えてもらうのか気を配っている。ヘルパーや配食サービスの人にも、訪問した時に冷房機のチェックをお願いする工夫もする。災害並みのこの暑さ、皆さんと力を合わせて一緒に乗り越えたい。

共生の里ヘルプーステーション



ひとり暮らしの利用者が多くなっています。Aさんは、歩行が不安定で地域の交流会などには参加できませんが、気にかけて毎日のように様子を見に来てくれるご近所さんがいました。そのご近所さんが、いつもなら閉まっているはずの雨戸が開いていて「おかしい」と思い訪ねてみたら、部屋で倒れているAさんを発見しました。直ぐに救急車を呼び、事なきを得たようですが、近所付き合いが大切だと感じた出来事でした。昨今、近所付き合いが希薄になっていますが、高齢者にとって近所付き合いは命に直結すると思います。

誕生日に寄せて

いつも笑顔で穏やかな利用者様です。朝は一人ひとりに「おはようございます。今日もお願いします」と丁寧に挨拶します。スタッフからのお願いも、いつも快く引き受けてくれます。レクリエーションは控え目で、周りの方を優先する優しさ？があります。他の利用者が困っていると、さりげなく気にかけていることが分かり、本当にやさしい人だなと思います。これかからも癒しのオーラを出して下さいね。

